

TOSHIBA

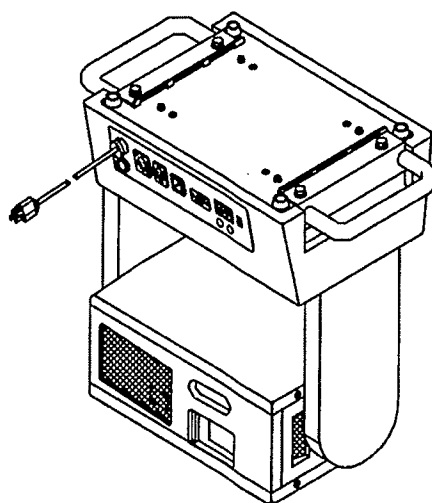
Leading Innovation >>>

ムービング スター

形 名

AL-MVS-M340

取扱説明書



このたびは、東芝ムービング スターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

東芝ライテック株式会社

目次

1. 特徴	1
2. 警告表示内容の説明	1
3. 安全にお使いいただくために	2
4. 本体表示銘板と表示内容	5
4. 1 本体表示銘板	5
4. 2 表示内容	5
5. 基本システム構成	6
5. 1 システム構成例1（PC操作卓映像使用例）	6
5. 2 システム構成例2（メディアサーバ映像使用例）	6
6. 各部の名称と使用方法	7
6. 1 ムービングスター＜本体＞（形名：AL-MVS-M340）各部の名称	7
6. 2 ムービングスター＜本体操作部＞の操作方法	8
6. 3 リモコンの操作方法	9
6. 4 ムービングスターの取付方法	10
6. 5 ライト可動範囲	10
6. 6 ケーブルの接続方法	11
6. 7 DMXアドレス設定	11
6. 8 チャンネル割付表	12
6. 9 リモコンの電池の入れかた	13
7. 操作方法	14
7. 1 リモコンの操作	14
7. 2 投写のしかた	14
7. 3 映像の調整	17
7. 4 オンスクリーンメニューの基本操作	18
8. メンテナンス	20
8. 1 プロジェクタの掃除	20
8. 2 ランプ交換時期とランプおよび冷却ユニットの交換方法	20
9. トラブルシューティング	23
10. 点検と修理	24
10. 1 日常点検、整備のお勧め	24
10. 2 定期点検のお勧め	24
10. 3 修理	24
11. 光学特性	25
11. 1 照度データ	25
11. 2 投写サイズと投写距離	25
12. 仕様一覧	26

1. 特 長

この器具は、従来の照明ムービングシステムを操作するDMX卓により、フルカラー映像を自由自在に移動変化させることができるムービングプロジェクタで、今までにない画期的な映像演出を実現します。さらに、3000ルーメンの明るさにより、大画面のマルチビジョンにも対応できる新世代のビジュアルシステムです。

主な特長は、次の通りです。

- 1) DMX出力の照明ムービングシステム操作卓により、パン・チルト・ズーム・ディマーシャッタの制御が行えます。
- 2) オートフォーカス機能により、投写画面のフォーカスを自動的に調整します。また、パン、チルト及びズームを動かした場合にも、素早くフォーカスを合わせることができます。
- 3) ビデオ信号又はコンピュータの信号を入力することにより、あらゆる映像メディアを出力表示できます。
- 4) 操作卓からのDMX信号により、出力映像の上下反転・左右反転および、入力ソースの切替え、斜め照射による台形歪補正を行うことができます。
- 5) 高性能モータにより、高速から超低速までなめらかに動作しますので、あらゆる演出シーンにも対応できます。
- 6) 超微細動作をすることができますので、マルチビジョンシステムにも対応できます。
- 7) デジタルスイッチにより、簡単に任意のDMXアドレスに設定することができます。
- 8) DMX出力レセプタクルからのデジタル接続により、複数のムービングスターを接続・制御できます。
- 9) ワンタッチ装着可能な吊りハンガーにより、容易に吊り込み作業を行えます。

2. 警告表示内容の説明

器具本体および取扱説明書に警告表示をしています。
器具の使用前に警告内容を必ず確認のうえ安全にご使用ください。

シグナル用語の意味

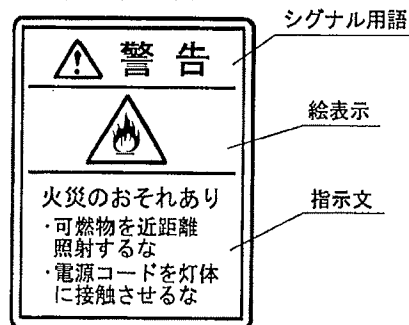
⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

警告表示例



3. 安全にお使いいただくために



警告



- 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。
一般用照明器具として使用する製品ではありません。



- ムービングスター専用の取付金具を使用してください。
取付金具の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具の使用角度に制限があります。取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を超えると、器具の破損の原因となります。



- 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小離隔距離を
取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定距離より近すぎると、火災または器具の破損等の原因となります。



- 集光形照明器具と被照射面の距離は、取扱説明書に従って十分な距離をとってください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。



- 器具の取付・設置時は、電源ケーブル・DMX制御ケーブル・映像ケーブル等を器具本体に
接触しないように取付けてください。
接触していると器具巻き付きによる、故障や火災の原因となります。



- 器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。



- 煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。



- 異常時にはすぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。



- 電源ケーブルはプラグを持って抜いてください。
電源ケーブルの上に重い物を載せたり、ケーブルを無理に曲げたりすると、電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電する恐れがあります。



- 内部に異物を入れないでください。開口部から内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差込み
使用すると、火災・感電の原因になります。



- 器具点灯後はレンズ部をのぞかないでください。強い光で視力障害などをおこす恐れがあります。
動作中は器具にさわらないでください。けがをするおそれがあります。



- 電源は本体表示および取扱説明書に従って指定されたものを使用してください。
指定以外の電源を使用すると火災・感電・故障の原因となります。



注 意

1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用する、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
プロジェクタの立ち消え、器具の破損・変形・火災、ランプの破裂等の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。
- ランプは指定されたランプを使用してください。
指定以外（適合しない）のランプを使用すると、器具の破損・ランプの破裂の原因となります。

2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
特に吊下げ設置等は未熟練者だけの対応は、間違いの原因となる恐れがあります。
- 据付施工は、主任電気工事士の管理のもと行ってください。
なお、電線相互を接続する作業は電気工事士の有資格者が行ってください。
- 取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置に専用の吊下げユニットを使用する場合は、落下防止ワイヤーを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。
- 器具を置き状態で使用する場合は、水平な強固な場所に取付・設置してください。
吊って使用する場合は吊下げユニット等、当社指定のオプションを使用し、垂直状態となるように取付・設置してください。
本体が斜めになると故障やランプ寿命低下の原因となります。

3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけの対応は、間違いの原因となる恐れがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
- ランプの取扱いは、ランプの取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- ランプの装着は、ランプソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないとランプ・ランプソケットの破損の原因となります。

注 意

4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となる恐れがあります。
- 取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付けに器具本体の吊下げユニットを使用する場合は、落下防止ワイヤーを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となる恐れがあります。

5. 保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- ランプ交換および器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけでの対応は、間違いの原因となる恐れがあります。
- ランプ交換、部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電することがあります。
- 電源ケーブル、プラグ、コネクタは日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・火災の原因になることがあります。
- 器具のネジ類は、振動等で緩む場合があります。取扱説明書に基づき処置をしてください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったまま使用しないで、清掃してください。火災の原因となります。
- ランプの取扱いは、ランプの取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- ランプは指定されたランプを使用してください。
指定以外（適合しない）のランプを使用すると、器具の破損・ランプの破裂の原因となります。
- ランプの装着は、ランプソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないとランプ・ランプソケットの破損の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・感電・火災の原因となります。
- 冷却ファンの吸込口またはエアフィルタが、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。器具の故障の原因となります。

6. 保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
感電・火災の原因となる恐れがあります。

7. 廃棄について

- 本体の廃棄の際は、お買上げの販売店、または自治体にお問合せください。

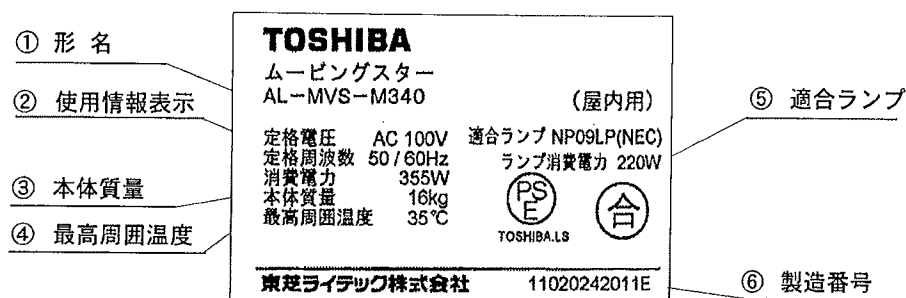
4. 本体表示銘板と表示内容

照明器具の本体に下記の銘板が表示してあります。

取扱時には、必ず内容を確認のうえ、安全にご使用ください。

4. 1 本体表示銘板

ランプ

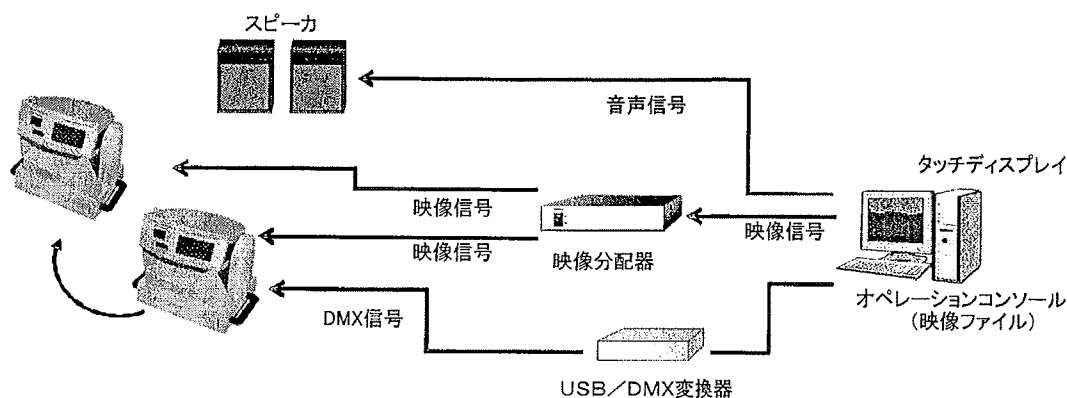


4. 2 表示内容

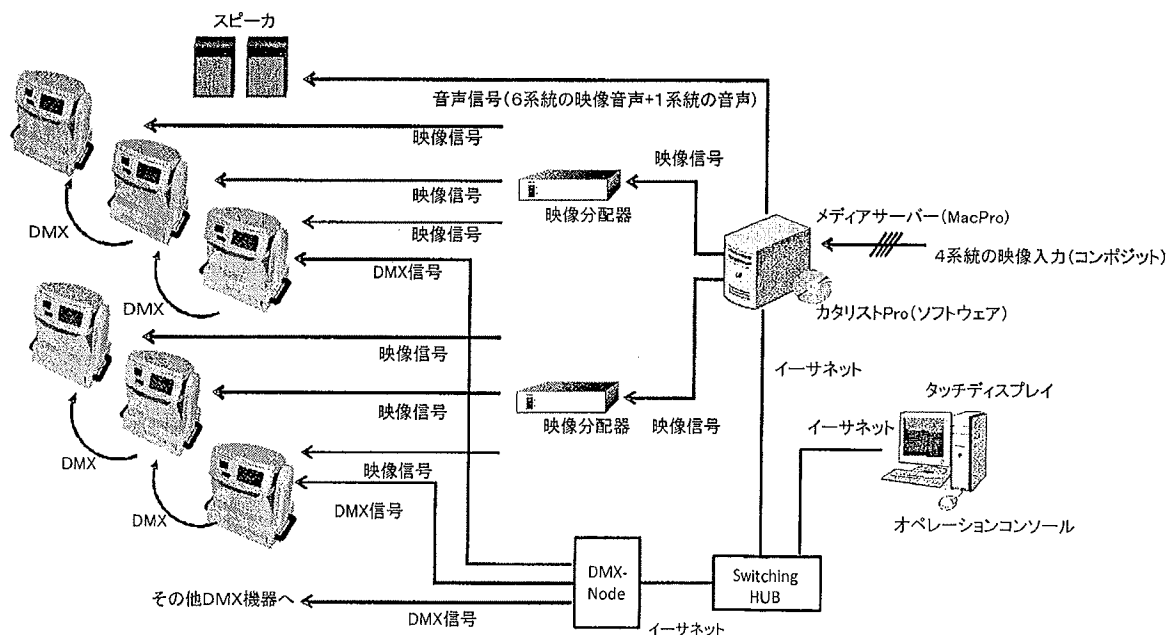
- ① 形名：モデル番号（形名）を表示しています。
- ② 使用情報表示：「定格電圧」「定格消費電力」「定格周波数」「マーク」を表示しています。
- ③ 本体質量：吊りハンガーその他の付属品を含まない照明器具本体（ランプを含む）質量を表示しています。
- ④ 最高周囲温度：通常の使用状態で連続動作させてもよい最高周囲温度を表示しています。
- ⑤ 適合ランプ：適合ランプを形名で表示しています。
適合ランプ以外は使用しないでください。
- ⑥ 製造番号：製造年と製造番号等を略号で表示しています。

5. 基本システム構成

5. 1 システム構成例1 (PC 操作卓映像使用例)

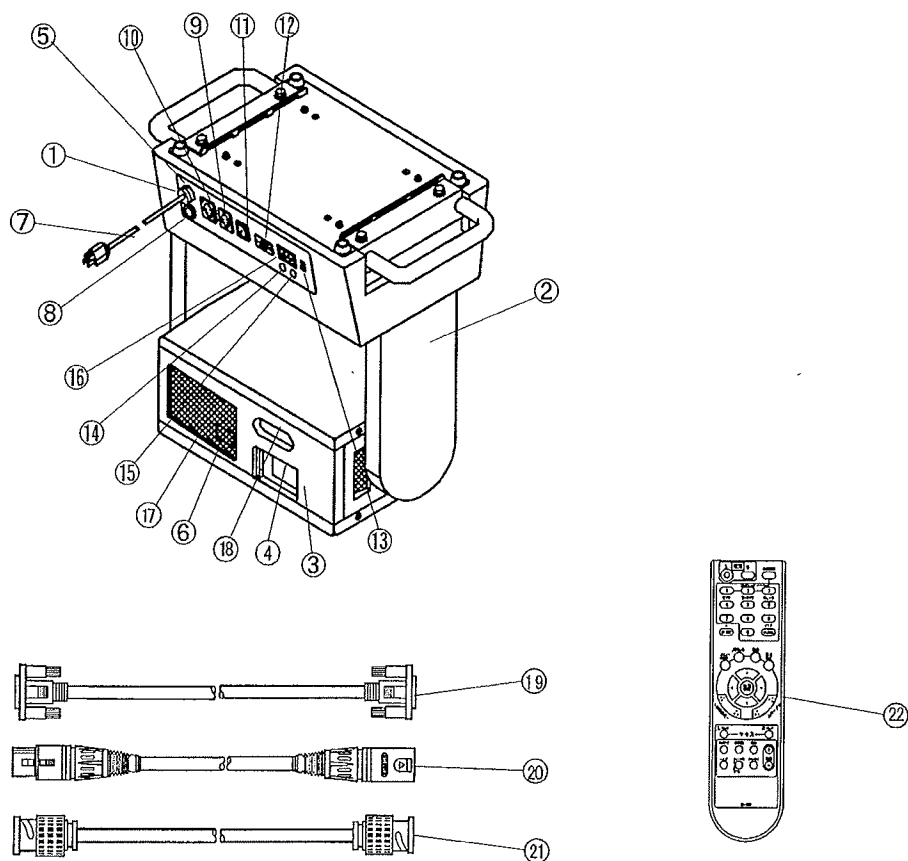


5. 2 システム構成例2 (メディアサーバー映像使用例)



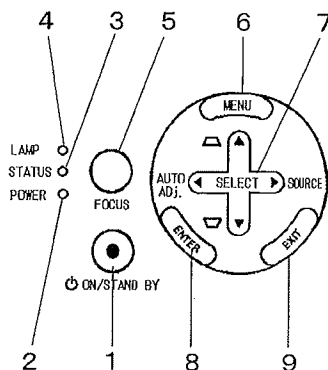
6. 各部の名称と使用方法

6. 1 ムービングスター〈本体〉（形名：AL-MVS-M340）



No.	名 称	No.	名 称
①	制御部	⑩	DMX出力レセプタクル
②	アーム	⑪	映像入力レセプタクル(VIDEO)
③	光源部	⑫	映像入力レセプタクル(RGB)
④	照射口	⑬	DMX終端スイッチ
⑤	コネクタパネル	⑭	受電LED
⑥	IRCリモコン受光窓	⑮	信号受信LED
⑦	電源入力ケーブル	⑯	デジタルスイッチ
⑧	ヒューズホルダ	⑰	排気口
⑨	DMX入力レセプタクル	⑱	フォーカスセンサー受光窓
		⑲	RGB信号ケーブル(付属品)
		⑳	DMX制御ケーブル(別売品)
		㉑	映像ケーブル(別売品)
		㉒	リモコン (07N900691[NEC]) 照射口

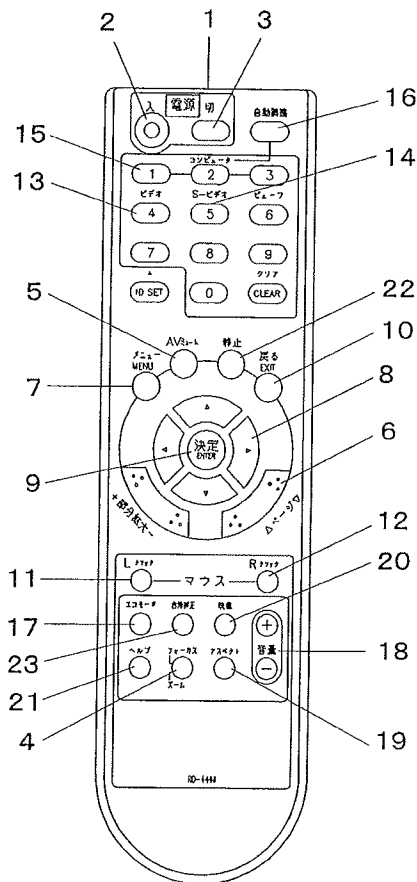
6. 2 本体操作部 (プロジェクタ操作パネル)



- 1 **POWER ON/STAND BY ボタン:**
本機の電源を入/切(スタンバイ状態)します。
電源を入れるときは、約1秒押します。
電源を切る(スタンバイ状態)ときは、一度押して
電源オフ確認メッセージを表示してもう一度
ON/STAND BY(またはENTER)ボタンを押します。
- 2 **POWER インジケータ:**
電源が入っているときは緑色に点灯します。
(プロジェクタ取扱説明書[簡易版]P33参照)
電源が切れている(スタンバイ状態)ときはオレンジ色に
点灯します。
- 3 **STATUS インジケータ:**
本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に
異常が発生したときに、点灯/点滅します。
詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。
(プロジェクタ取扱説明書[簡易版]P33参照)
- 4 **LAMP インジケータ:**
ランプの交換時期がきたことやランプモードの状態
(エコモード)をお知らせします。
(プロジェクタ取扱説明書[簡易版]P34参照)
- 5 **FOCUS ボタン:**
短く押すとSELECT ◀▶ボタンでフォーカス調整ができます。
長く押すと、オートフォーカスが働きます。
- 6 **MENU ボタン:**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
- 7 **SELECT ▼▲◀▶ ボタン (SOURCEボタン, AUTO ADJ.ボタン
および台形補正ボタンを兼用):**
オンスクリーンメニューを表示しているとき
・ SELECT ▼▲◀▶ ボタンを押すと、設定・調整したい項目
を選択できます。
オンスクリーンメニューを表示していないとき
・ SELECT ▶ (SOURCE) ボタンでコンピュータ, ビデオ,
S-ビデオの入力を切り替えます。
・ SELECT ◀ (AUTO ADJ.) ボタンでコンピュータ入力信号の
画像を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
・ SELECT ▼▲ボタンで台形歪みの補正ができます。
- 8 **ENTER ボタン:**
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに
進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。
- 9 **EXIT ボタン:**
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに
戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、
メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取
り消します。

プロジェクタ操作パネルの詳しい使い方、動作については、プロジェクタの取扱説明書[簡易版]
または、CD-ROM 版の取扱説明書[詳細版]をご覧ください。

6. 3 リモコン



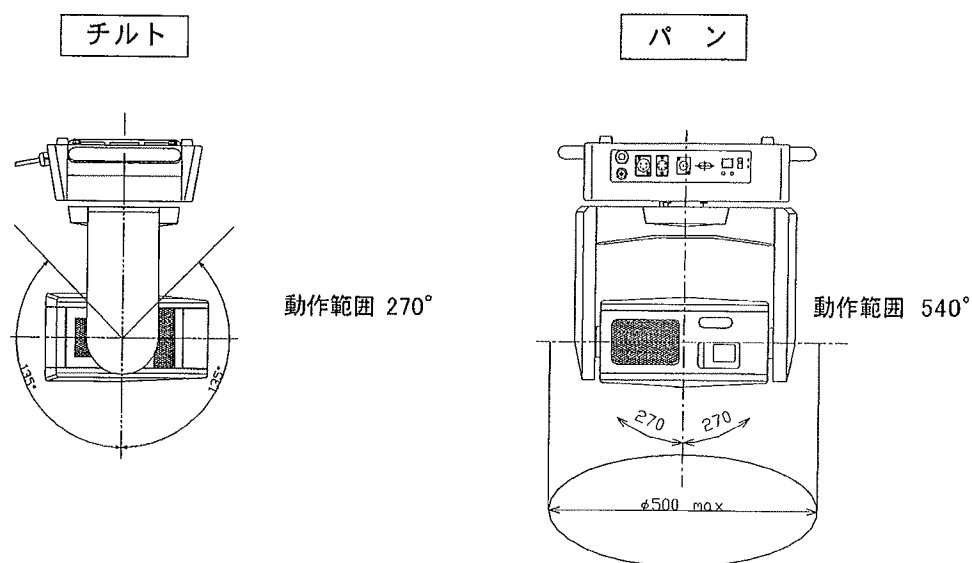
- 1 **リモコン送信部：**
赤外線によるリモコン信号が送信されます。
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 2 **電源【入】ボタン：**
スタンバイ時に約1秒押して、本機の電源を入れます。
- 3 **電源【切】ボタン：**
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度【切】(または【決定】) ボタンを押すと、本機の電源が切れます (スタンバイ状態)。
- 4 **フォーカス/ズームボタン：**
短く押すと◀▶ボタンでフォーカスが調整できます。
長く押すとオートフォーカスが働きます。
- 5 **AVミュートボタン：**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。
- 6 **ページ◀▶ボタン：**
添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。パソコン画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどの操作が行えます。
- 7 **メニューボタン：**
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
- 8 **▼▲◀▶ボタン：**
オンスクリーンメニュー操作に使います。また、添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときは、パソコンのマウスとして動作します。
- 9 **【決定】ボタン：**
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。確認メッセージ表示中は、項目を決定します。
- 10 **【戻る】ボタン：**
オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。
- 11 **マウスLクリック ボタン：**
添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。マウスの左ボタンの動作をします。
- 12 **マウスRクリックボタン：**
添付のマウスレシーバをパソコンに接続しているときに使います。マウスの右ボタンの動作をします。
- 13 **ビデオボタン：**ビデオ入力を選択します。
- 14 **S-ビデオボタン：**S-ビデオ入力を選択します。
- 15 **コンピュータボタン：**
コンピュータ入力(またはコンポーネント)を選択します。
- 16 **自動調整ボタン：**
投写しているコンピュータ入力信号の画像を最適な状態に自動調整します。
- 17 **エコモードボタン：**エコモード設定画面を表示します。
- 18 **音量 +/- ボタン：**内蔵スピーカの音量を調整します。
- 19 **アスペクトボタン：**アスペクト調整項目を表示します。
- 20 **映像ボタン**
ボタンを押すたびに、映像のプリセット、明るさ、コントラスト、シャープネス、カラー、色相の映像調整項目を順に表示します。
- 21 **ヘルプボタン：**情報画面を表示します。
- 22 **静止ボタン：**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。
- 23 **台形補正ボタン：**
台形補正調整画面を表示します。

リモコンの詳しい使い方、動作については、プロジェクトの取扱説明書[簡易版]
または、CD-ROM 版の取扱説明書[詳細版]をご覧ください。

6. 4 ムービングスターの取付方法

ムービングスターの取付方法は、オプションのムービングスター専用ハンガーの取扱説明書を御参照下さい。

6. 5 ライト可動範囲



注) 光源部の後ろの吸気口が隠れてしまう状態になる直上向きおよび直下向きの状態で長時間放置しないでください。
このような状態で長時間使用する場合は当社へご相談ください。

6. 6 ケーブルの接続方法

6. 6. 1 電源ケーブルの接続方法

- ① 電源ケーブルをAC100Vコンセントに接続してください。
注) 電源AC100V専用です。やむをえず調光器から電源をとる場合は、誘導負荷対策されている半導体調光器のFULL出力か直回路をご使用ください。
注) 本機の電源プラグはアースつき2芯プラグです。機器の安全確保のため機器のアースを確実に接地した後に使用してください。

6. 6. 2 DMX制御ケーブルの接続方法

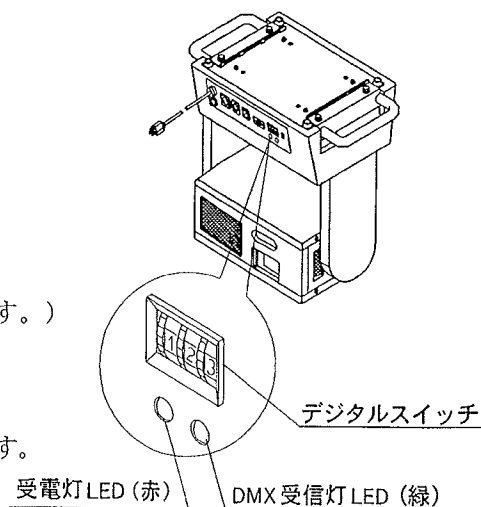
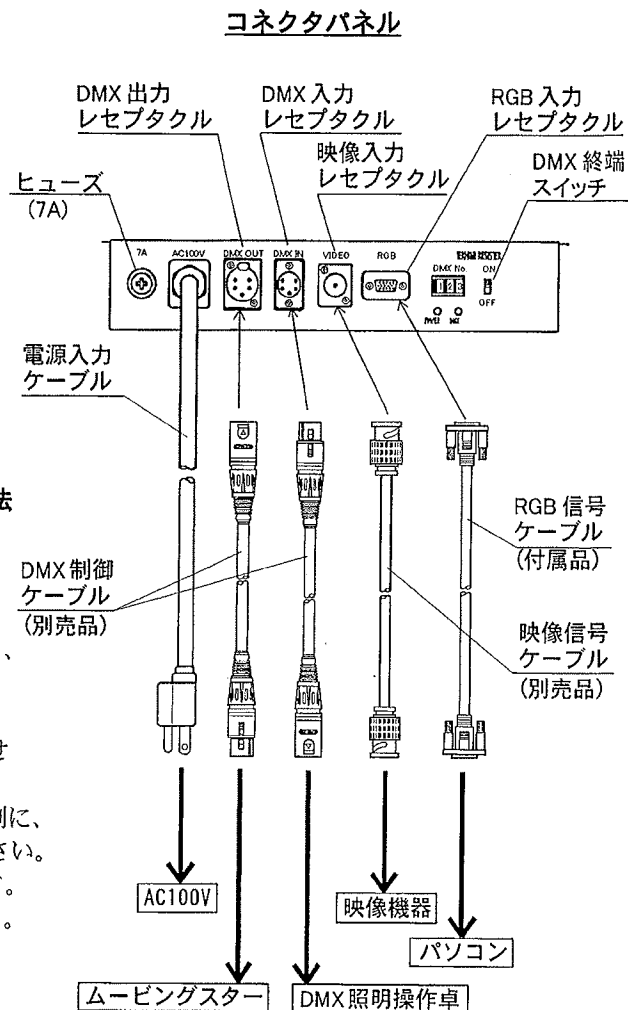
- ① 右図のように、DMX照明操作卓のDMX出力レセプタクルと本体のDMX入力レセプタクルとをDMX制御ケーブルで接続してください。また、本体のDMX出力レセプタクルから別のムービングスターのDMX入力レセプタクルに接続し、同時に制御させることができます。
- ② DMX信号ラインの途中の器具はOFF側に、終端の器具はON側に設定してください。
注) 接続できる台数には制限があります。複数台動かす時にはご相談ください。

6. 6. 3 映像ケーブルの接続方法

- ① 右図のように映像入力レセプタクルに映像ケーブルを接続してください。
注) 本体が動作したときにケーブルに接触したり、引っ掛かったりしないようにケーブルを吊りパイプに巻き付ける等の処理をしてください。

6. 7 DMXアドレスの設定

- ① 電源がOFFの状態のコネクタパネル面のデジタルスイッチ（3桁）を任意の番号にセットしてください。ここで設定したムービングスターのDMXアドレスは6. 8項のチャンネル割付表のPAN1のチャンネル番号となります。
（各番号の横のツマミを回すと番号が変わります。）
注) DMXアドレスは1～492までの間で設定してください。
- ② 電源を入れ、受電灯LED（赤）が点灯すると、DMXアドレスをムービングスター自体が認識します。
- ③ 正常にDMX信号を受けるとDMX受信灯LED（緑）が点滅します。



6. 8 チャンネル割付表

6.8.1 チャンネル割付

		チャンネルNo.																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		パン	チルト	オートフォーカス	ズーム	ディマ-シャッタ速度	ディマ-シャッタON/OFF							映像入力	照射方向	キーストン	オート補正	リセット	赤外線操作時メニューのOFF	ランプ点灯	ランプ消灯
100	255	540°	270°	OFF 100%	ライト	低速	開							100%	100%	100%	自動で台形補正	低速	100%	100%	100%
														RGB	据置きリヤ	99.9%			99.9%		
														67%	75.1%						
														66%	75.0%						
															天吊リリヤ						
															50.1%						
															50.0%						
																据置きフロント					
															25.1%						
															25.0%						
															ビデオ						
																0.1%					
0	0	0°	0°	0%	フル	高速	閉							0.0%	0.0%	0.0%	リセット	高速	0.0%	0.0%	0.0%

機能一覧

チャンネル	機 能	動作範囲および機能説明	備 考
1	パン制御1	0%～100%：0～540°	最小動作単位：約2.18°/HEXレベル
2	パン制御2(微調整)	0%～100%：パン1の1レベル(HEX)を255分割	最小動作単位：約0.008°/HEXレベル
3	チルト制御1	0%～100%：0～270°	最小動作単位：約1.06°/HEXレベル
4	チルト制御2(微調整)	0%～100%：チルト1の1レベル(HEX)を255分割	最小動作単位：約0.004°/HEXレベル
5	オートフォーカス ON/OFF	オートフォーカスにするか止めるかの切替 0%：ON，100%：OFF	ONの時、投影距離1.5mから5.5mの範囲で自動でピントを合わせることができます。
6	ズーム	投影サイズをコントロールできます。	ズーム比1：1.2
7	ディマ-シャッタ速度設定	0%：約1秒～100%：約25秒	フェードイン・フェードアウトの速度を決めます。
8	ディマ-シャッタ ON/OFF	0%：閉 100%：開	
9	空チャンネル		
10	空チャンネル		
11	空チャンネル		
12	空チャンネル		
13	映像ソース切替	0%～33%：ビデオ 67%～100%：RGB	ビデオ、コンピュータ入力の切替ができます。
14	映像反転切替	0%～25%：吊りフロント 25.1%～50%：置きフロント 50.1%～75%：吊りリア 75.1%～100%：置きリア	映像の上下反転、左右反転をコントロールできます。
15	自動台形補正 (キーストン補正)	0%以外に変更すると自動で台形補正されます。	
16	モータ速度設定	0%：高速～100%：低速	パン、チルトのモータの速度をコントロールできます。
17	リセット	0%以外に変更するとリセットされます。	パン、チルト、ディマ-シャッタのレベル0で、パン、チルトの位置をリセットします。パン、チルトのみ初期動作を実行します。
18	赤外線操作時メニューのOFF	器具が複数台あり、同時にメニュー画面が表示された場合、対象器以外解除できます。0%以外に変更すると解除されます。	
19	ランプ点灯 ※1	0%：ランプ消灯 100%：ランプ点灯	ランプ点灯/消灯をコントロールします。チャンネル19, 20のレベルの組合せで有効となります。
20	ランプ消灯 ※1	0%：ランプ点灯 100%：ランプ消灯	点灯：消灯パターン→点灯パターン 消灯：点灯パターン→消灯パターン

注) 動作範囲は6. 4項ライト稼働範囲を参照してください。

操作卓のファインモード(16ビット出力)で操作してください。ファインモード操作できない場合および操作卓によっては、動作範囲および最小動作単位が異なる場合があります。

6.6.2 各制御チャンネルの算出方法

- ムービングスターのDMXアドレス101でチャンネル6のズームサイズを設定する場合、このムービングスターのズームサイズ設定チャンネルは、以下の通りとなります。

$$\boxed{101} + \boxed{5} - 1 = \boxed{105}$$

↑
ムービングスター
のDMXアドレス

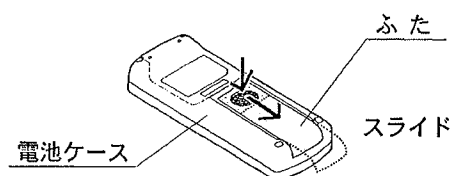
↑
各器具の制御チャンネル
の割付け番号

↑
DMXアドレスを101に設定した
ムービングスターのズームサイズ
設定チャンネルのDMXアドレス

6. 9 リモコンの電池の入れかた

① 電池ケースのふたをはずす

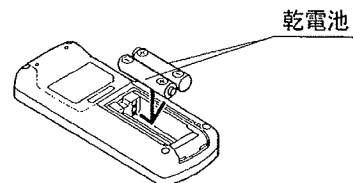
リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。



② 乾電池を2本入れる

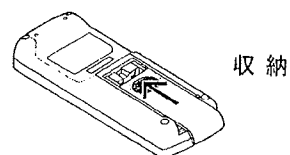
ケース内部に印刷されている＋、－の向きに合わせて単4乾電池をセットする。

注) 乾電池は2本とも同じ種類の単4乾電池を使用してください。



③ 電池ふたを収納する

もとどおりにふたをする。



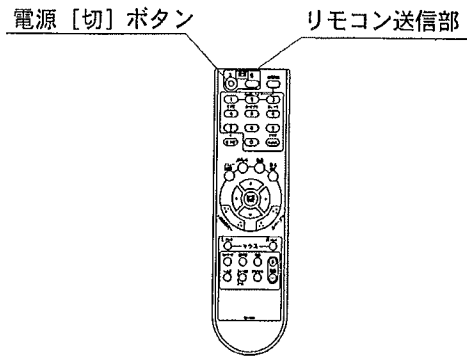
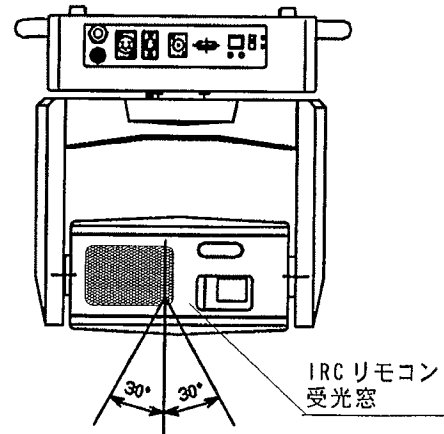
7. 操作方法

7. 1 リモコンの操作

- ① リモコンの送信部を器具のIRCリモコン受光窓に向けて操作してください。
- ② リモコンの機能および使用方法は、6. 3項を参照してください。
- ③ リモコンの操作可能距離は約7 m、リモコン操作可能範囲は約60°です。
この範囲で使用してください。

注) リモコン送信部と器具のIRCリモコン受光窓の間に障害物がある場合は、リモコン操作ができないことがあります。

注) リモコンが操作できなかったり、誤作動するときは、電池の交換時期と考えられます。
電池を新しいものに交換してください。



7. 2 投写のしかた

7.2.1 プロジェクタの点灯方法

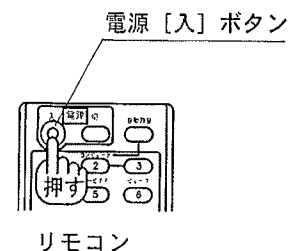
ムービングスター本体の電源をONするとプロジェクタは自動的に点灯します。

7.2.4項にもとづいてプロジェクタを終了した後、再点灯させる場合は、以下の方法で操作してください。

a) リモコンでプロジェクタを点灯する

- ① リモコンの電源 [入] ボタンを約1秒押してください。
- ② リモコンの送信部を器具のIRCリモコン受光窓に向けて操作してください。
(7. 1項を参照)

注) 器具が複数台あり、同時にメニュー画面が表示された場合、解除対象器のチャンネル18番を0%以外に変更すると解除されます。



b) DMX操作卓でプロジェクタを点灯する

- ① 7.2.4のb)項に基づいてプロジェクタを点灯させてください。

注) DMX操作で点灯した場合、プロジェクタが安定するまで約90秒間消灯を受け付けず動作しません。

7.2.2 接続した機器の電源を入れ、信号を出す

・AV機器を接続した場合

- ① AV機器の電源を入れる。
- ② 信号をプロジェクタに出力させる。
 - ・AV機器のPLAYボタンまたは再生ボタンを押すなど。

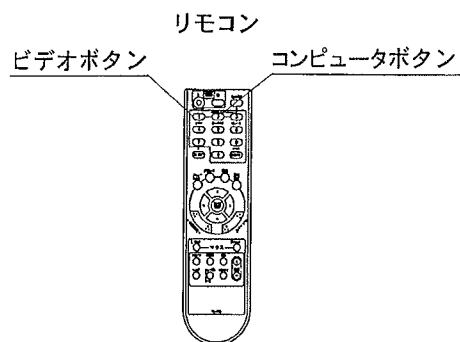
注) 映像信号無入力状態又は黒だけの映像入力状態から、映像信号が入力された直後は入力信号に合わせた映像を出力する調整の為に、一旦映像が途切れる事があります。

7.2.3 映像を選ぶ

本機はビデオの映像およびパソコンの映像を入力できます。

a) リモコンの操作パネルで選択する

- ・リモコンの「ビデオボタンおよびコンピュータボタン」を押し、映像を選択します。



注) 映像信号が表示されない場合は、

- ・映像選択が、接続されていない方を選んでいるとき
- ・接続されていないとき
- ・接続が不完全なとき
- ・接続した機器からプロジェクタに信号が出力されていないとき

などが考えられます。再度、接続および映像の選択が間違っていないかを確認してください。

注) 接続した機器から選択した映像信号が入れば、自動的にその映像信号を投写します。

映像信号が切り替った直後は入力信号に合わせた映像を出力する調整の為に、一旦映像が途切れる事があります。

b) DMX操作卓で選択する

- ・チャンネル13番の映像ソース切替で選択できます。
 - 0～33%：ビデオ入力、67～100%：コンピュータ入力の切替ができます。
- 6.8項チャンネル割付表を参照してください。

7.2.4 プロジェクタの終了方法

ムービングスターの電源をOFFする前にプロジェクタのランプを消灯し、クールダウン（ランプを冷やす動作）させてください。

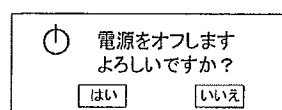
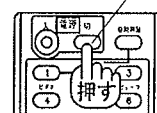
a) プロジェクタおよびリモコンで消灯する場合

- ① リモコンの電源「【切】ボタン」を押します。
- ② リモコンの「【決定】ボタン」を押します。

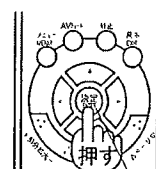
注) 電源を切りたくないときは、他のボタンを押してください。
また、そのまま何もしないと7秒後にメッセージが消えます。

リモコン

電源【切】ボタン



リモコン



【決定】ボタン

b) DMX操作卓でランプを消灯または点灯する場合

DMXチャンネル19、20のDMXレベルの設定により、消灯または再点灯することができます。

DMXチャンネル \ DMXレベル	19	20
100%	B	A
0%	A	B

チャンネル19、20がAのDMXレベル・・・ランプ点灯パターン
チャンネル19、20がBのDMXレベル・・・ランプ消灯パターン

ランプの消灯手順：パターンA→パターンB→ランプ消灯
ランプの再点灯手順：パターンB→パターンA→ランプ点灯

※どちらか1パターンでは、消灯、再点灯はできません。
※必ず上記の手順にしたがって、操作を行ってください。

注) クールダウンにかかる時間は約1分間です。外気温等によって長くなることがあります。

注) 一度点灯した場合は、ランプのクールダウンが必要となります。

1分間以上は本体の電源を切らないでください。

注) 一度消灯した後、約1分間は再点灯できなくなっています。

消灯後3分間以上たってから再点灯してください。

注) 消灯後再点灯する場合は7.2.1項を参照してください。

7. 3 映像の調整

7.3.1 スクリーンサイズ（ズーム）の調整

DMXチャンネル6（ズーム機能）のDMXレベルに対応して遠隔制御できます。
ズーム比は1:1.25です。

7.3.2 オートフォーカス（ピント）のON/OFF

DMXチャンネル5のDMXレベルが0%の時にオートフォーカス機能により自動的に投写面のフォーカスを合わせます。投写距離が1.5m～5.5mの範囲（テレ時：33～123型、ワイド時：40～149型）でオートフォーカスが働きます。

オートフォーカスは次のタイミングの時に働きます。

- ・電源が入った時
 - ・ズームを動かした時
 - ・パン、チルトを動かした時
- 次の場合に動作範囲が狭くなったり、正しく動作しない場合があります。
- ・スクリーンの色や被写体の環境条件
 - ・透明スクリーン
 - ・フォーカスセンサーとスクリーン間を障害物で遮られている場合
 - ・パン、チルトをゆっくり動かした時（ズームを合わせて動かすと動作します）
 - ・スクリーンを移動させた場合

オートフォーカスを使いたくない時にはDMXチャンネル5のDMXレベルを100%にしてください。
約5.5mを超える設置や動作範囲外の場合は、次の手順でフォーカスを手動で合わせてください。

- ① DMXチャンネル5のDMXレベルを100%にしてオートフォーカスをオフにします。
- ② リモコンのFOCUS(+)またはFOCUS(-)ボタンを押すとフォーカス調整画面が表示されます。
- ③ FOCUS(+)またはFOCUS(-)ボタンを押してフォーカスを調整します。

約5秒間ボタン操作をしなければフォーカス調整画面は自動的に消えます。

注) DMXチャンネル5のDMXレベルを0%に戻し、パン、チルト、ズームのいずれかを動かすとオートフォーカスが働きます。

注) DMXチャンネル5のDMXレベルが0%の状態でもオートフォーカスがオフになった場合は、リモコンでオンに設定してください。

7.3.3 キーストーンの補正

斜め照射による投写画面の台形歪みを自動補正することができます。キーストーン操作を行うと、数秒間画面が暗転した後、チルト位置に対応して台形歪みが自動補正されます。
上下約16°の傾きにまで対応します。

a) DMX操作卓で制御する場合

- ① DMXチャンネル15(キーストーン機能)のDMXレベルを0%以外に変化した時のチルトの角度に対応して台形歪みが自動補正されます。
- ② 照射位置が変わって、改めてキーストーンを操作する場合は、再度0%以外に変化することで、チルト角度に対応して台形歪みが自動補正されます。

DMXレベル	キーストーンの状態
100% 0.1%	値が変更された時に 台形歪みが1回自動補正されます。
0%	この値では動作しません。

b) プロジェクタ本体のまたはリモコンの操作ボタンで自動制御する場合

- ① プロジェクタ本体のまたはリモコンの「メニューボタン」を押してオンスクリーン画面を表示させます。
 - ② 「▼▲▶」ボタンを押して「セットアップー全般」にカーソルを合わせて「[決定]ボタン」を押します。
 - ③ 「自動台形補正」にカーソルを合わせて「[決定]ボタン」を押します。
 - ④ 自動台形補正をオンにして下さい。
- 注) 自動台形補正をオンのままにしておくとチルトを動かす毎に自動台形補正が働き映像が乱れたような状態になります。必ず補正後、自動台形補正はオフの状態にしておいて下さい。

7.4 オンスクリーンメニューの基本操作

は各項目のムービングスターへの搭載時の値を表しています。

メインメニュー	サブメニュー	選択項目			
入力端子	—	コンピュータ			
		ビデオ			
		S ービデオ			
		ビューワ(NP64J /NP54J)			
調 整	ベーシック				
	プリセット		1 : 高輝度モード / 2 : プレゼンテーション / 3 : ビデオ / 4 : ムービー / 5 : グラフィック / 6 : sRGB		
	詳細設定	参 照	高輝度モード / プレゼンテーション / ビデオ / ムービー / グラフィック / sRGB		
		ガンマ補正	ダイナミック / ナチュラル / ソフト		
		色温度	5000 / 6500 / 7800 / 8500 / 9300 / 10500		
		BrilliantColor	オフ、中、強		
	コントラスト				
	明るさ				
	シャープネス				
	カラー				
	色相				
	音量				
	リセット				
	画像設定		クロック周波数		
			位相		
			水平		
			垂直		
			アスペクト	自動 / 4:3 / 16:9 / 15:9 / 16:10 / ワイドズーム / リアル	
			表示位置		
			ノイズリダクション	オフ / 弱 / 中 / 強	
			テレビモード	オフ / 2-2 / 2-3 自動 / 2-2 オン / 2-3 オン	
			セットアップ	全般	自動台形補正
	台形補正				
台形補正保存	オフ / オン				
壁色補正	オフ / ホワイトボード / 黒板 / 黒板 (グレー) / ライトイエロー / ライトグリーン / ライトブルー / スカイブルー / ライトローズ / ピンク				
エコモード	オフ / オン				
言語	日本語, ENGLISH, 中文, その他18ヶ国				

	メニュー設定	表示色選択	カラー／モノクロ		
		入力端子表示	オフ／オン		
		I D 表示	オフ／オン		
		エコメッセージ	オフ／オン		
		表示時間	手動／自動5秒／自動15秒／自動45秒		
		バックグラウンド	ブルーバック／ブラックバック／ロゴ		
	設置	投写方法	デスク／フロント／天吊り／リア／ デスク／リア／天吊り／フロント		
		本体キーロック	オフ／オン		
		セキュリティ	オフ／オン		
		通信速度	4800bps／9600bps／19200bps／ 38400bps		
		コントロール	コントロールID番号	1～254	
			コントロールID	オフ／オン	
	オプション(1)	オートフォーカス	オフ／オン		
		ファンモード	自動／高速／高地		
		カラー方式	ビデオ	自動判別／NTSC3.58／ NTSC4.43／PAL／PAL-M／ PAL-N／PAL60／SECAM	
			S-ビデオ	自動判別／NTSC3.58／ NTSC4.43／PAL／PAL-M／ PAL-N／PAL60／SECAM	
		WXGAモード	オフ／オン		
		ビープ音	オフ／オン		
	オプション(2)	オフタイマー	オフ／0：30／1：00／2：00／ 4：00／8：00／12：00／16：00		
		スタンバイモード	ノーマル／省電力		
		オートパワーオン(AC)	オフ／オン		
		オートパワーオン (COMP)	オフ／オン		
		オートパワーオフ	オフ／0：05／0：10／0：20／0：30		
		初期入力選択	ラスト／自動／コンピュータ／ ビデオ／S-ビデオ／ビューワ(NP64J/NP54J)		
情報	使用時間	ランプ残量／ランプ使用時間／総CO2削減量			
	信号	信号名／水平同期周波数／垂直同期周波数／信号形式／ ビデオ標準／同期形態／同期極性／走査方式			
	VERSION	PRODUCT／SERIAL NUMBER／FIRMWARE／ DATA／CONTROL ID ※			
リセット	—	表示中の信号			
		全データ			
		ランプ時間クリア			

※ メニューの詳細はプロジェクターの取扱説明書〔簡易版〕および取扱説明書〔詳細版〕(User's Manual CD-ROM内)を参照してください。

取扱説明書〔詳細版〕User's Manual CD-ROMを閲覧するには、パソコンとPDF閲覧ソフトウェアAdobe Readerが別途必要です。

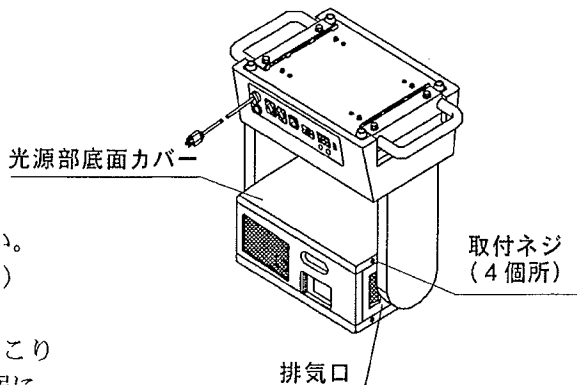
ファイルが開けない場合は、アドビシステム株式会社のホームページからAdobe Readerをダウンロードしてお使いのパソコンにインストールしてください。

Adobe® Reader® は、アドビシステムズ社の米国および／または各国での商標または登録商標です。Adobe Readerの不具合や利用方法についてはアドビシステム社にお問い合わせください。

8. メンテナンス

8. 1 プロジェクタの掃除

通気孔にほこりがたまると、空気のとおりが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますのでこまめに掃除をしてください。設置環境にもよりますが100時間を目安に掃除をしてください。



- ① 電源を切り、電源ケーブルを外してください。
- ② 光源部底面のカバーの取付ネジ（4 個所）を外し、カバーを外してください。
- ③ 掃除機などでプロジェクタの排気口のほこり・汚れを吸い取ります。掃除機のパワーは弱にしてください。
- ④ 光源部底面カバーを逆の手順で取付け、取付ネジ（4 個所）で確実に固定してください。

注）本体内部の掃除については、弊社営業所までご相談ください。

8. 2 ランプ交換時期とランプおよび冷却ユニットの交換方法

8.2.1 ランプの交換時期

本機搭載のプロジェクタの光源として使われているランプの交換目安は、ノーマルモードで使った場合、約700時間です。個々のランプ特性や使用条件などで700時間前に点灯しなくなるものもありますので、交換用ランプを準備しておくことをお勧めします。

注）ランプの交換目安（時間）は保証期間ではありません。

次の時はランプ交換時期ですのでランプの交換をしてください。

交換用ランプは別売品です。（交換ランプ形名：NP09LP [NEC]）

1. ランプ交換目安を超えLAMPのインジケータが赤く点滅し、「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されたとき。
2. ランプが点灯しないとき。
3. 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき。

注）2500時間を超えるとLAMPインジケータが赤く点滅し、「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。2600時間になるとランプが点灯しなくなります。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でもすみやかに新しいランプと交換し、初期化（8.2.3項を参照）してください。

注）オンスクリーンメニューの「情報」を選択すると、ランプの通算使用時間を示す「ランプの使用時間」とランプの使用時間に対する残量を％で示す「ランプ残量」を表示します。0％になると画面上にメッセージは投写中も表示され続けます。2500時間に到達（ランプ残量0％）後、「ランプ残量」表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、「ランプ残量」表示は「100（H）」と表示され、その後ランプ使用時間がマイナスされていき表示が「0（H）」になると、ランプが点灯しなくなります。

注）必ず新品のランプに交換してください。ランプ交換したときは冷却ユニットも交換してください。

注）本機のランプには環境に有害な微量の無機水銀が使われています。使用済みのランプは破損させないように取扱に注意し、蛍光灯等と同様の有害ごみとして分別廃棄してください。また、分別収集している自治体では、その条例に基づいて廃棄してください。

8.2.2 ランプおよび冷却ユニットの交換方法

- ① ムービングスター本体の、電源ケーブルのプラグを外してランプが冷えるまで約 1 時間待ってください。チルトを回して光源部底面カバーの取付ネジ（4 個所）を外し、光源部底面カバーを外してください。
- ② ランプカバーの突起部分を持ち、手前側から持ち上げる。
- ③ ランプハウス固定ネジ（2 個所）を左に空転するまでゆるめる。
 - ・ネジは外れません。
 - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。
 - ・ランプハウスの取手を持って引く。
- ④ 新しいランプハウスを静かに入れる。
- ⑤ ランプカバーの方向を合わせ差込み、ランプカバー取付ネジ（1 個所）を交換用ランプに付属のドライバーで回し、締めてください。
- ⑥ 電源ケーブルをセットしてください。
- ⑦ 取付は逆の手順で行ってください。

注) 感電防止のため必ずムービングスター本体の電源ケーブルを外してからランプ交換作業を行ってください。

注) 使用直後のランプは高温になっていますので、触わるとやけどの原因となることがあります。十分冷えてからランプ交換してください。

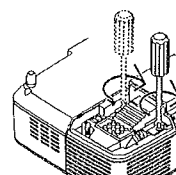
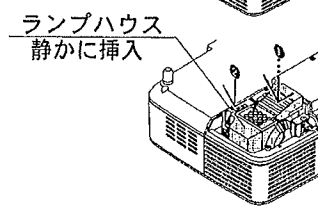
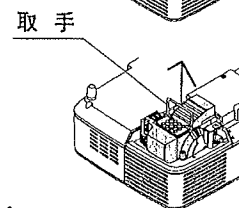
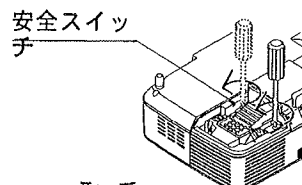
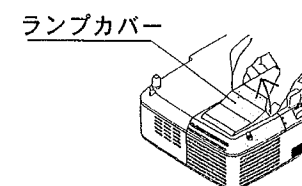
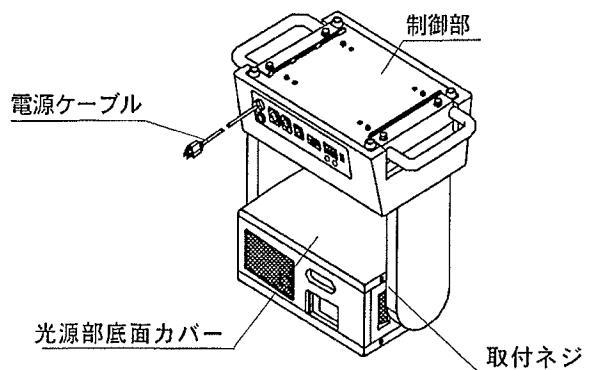
注) ランプは確実に取付けてください。

本機搭載のプロジェクタは安全のため、ランプカバーを開けると自動的に電源が切れます。ランプやランプカバーの取付けが不十分だと電源は入りません。

注) ランプは別売品です。（交換ランプ形名：NP09LP〔NEC〕）

注) ランプおよび搭載プロジェクタにより色温度（色味）の差が出る場合があります。

- ⑧ 冷却ユニットを交換するときは、

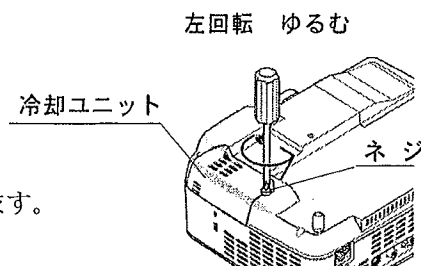


ムービングスター本体の、電源ケーブルのプラグを外してランプが冷えるまで約1時間待ってください。

チルトを回して光源部カバーを制御部の位置にしてください。

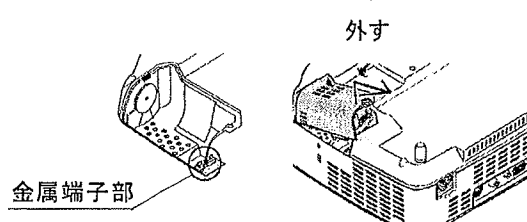
光源部カバーの取付ネジ（2箇所）をゆるめ、光源部カバーを開けてください。

注）冷却用ユニットは交換用ランプに添付されています。

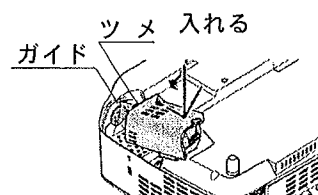


- ⑨ 冷却ユニットのネジを左に空転するまでゆるめ、冷却ユニットを外してください。

- ・ネジは外れません。
- ・金属端子部に汚れがある場合は取除いてください。



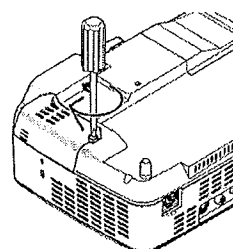
- ⑩ 新しい冷却ユニットのツメを本体のガイドに入れ閉める。



- ⑪ 冷却ユニットのネジを右に回して締める。
- ・ネジは確実に締めてください。

注）交換用ランプには冷却ユニットが添付されています。
ランプ交換したときは、必ず冷却ユニットを交換してください。

右回転 しめる



8.2.3 ランプ点灯時間の初期化

新しいランプと交換したときは、ランプ点灯時間の初期化を行ってください。

- ① プロジェクタ本体のまたはリモコンの「メニューボタン」を押して、オンスクリーン画面を表示させます。
- ② 「▼▲◀▶ボタン」を押して「情報」にカーソルを合わせて「決定ボタン」を押します。
- ③ 「ランプ時間クリア」にカーソルを合わせて「決定ボタン」を押します。

注）2600時間を超えて使用し、電源が入らなくなった場合は、スタンバイ状態でリモコンの「ヘルプボタン」を10秒以上押し続けることでランプ点灯時間が初期化されます。

9. トラブルシューティング

ムービングスターが正常に動作しない場合は、次の項目をお調べください。
処理を行ったにも関わらず不具合が解消しない場合は、弊社にご連絡ください。

症 状	確認事項	処置方法
電源が 入力されない	電源入力レセプタクルにAC100Vが供給されていますか。 受電灯(赤色)が点灯していますか。	AC100Vの電源を供給してください。
	電源ケーブルが正しく接続されていますか。	接続を確認し、接続が正常でケーブルに異常が見られる場合は、新しいケーブルと交換してください。
	ヒューズは切れていませんか。	切れていたら新しいヒューズと交換してください。
ランプが 点灯しない	ランプは付いていますか。	ランプを確認してください。
	ランプが切れていませんか。	切れていたら新しいランプと交換してください。
	使用時間が2600時間を超えていませんか。	新しいランプと交換し、初期化を行ってください。
映像が 表示されない	映像ケーブルが正しく接続されていますか。	接続を確認し、接続が正常でケーブルに異常が見られる場合は、新しいケーブルと交換してください。
	映像選択と受信選択が合っていますか。	映像選択を受信映像に合わせてください。
リモコンが 動かない	乾電池が消耗していませんか。	乾電池を確認してください。
	乾電池は正しくセットされていますか。	
	本体のリモコン受光部が塞がれていませんか。 障害物で遮られていませんか。	本体を確認してください。 障害物を避けて使用してください。
	距離が遠すぎませんか。	リモコン操作可能範囲距離で使用してください。
動作しない 誤動作する	DMX制御ケーブルが正しく接続されていますか。	接続を確認し、接続が正常でケーブルに異常が見られる場合は、新しいケーブルと交換してください。
	照明操作卓の指定DMXアドレスとムービング スターのDMXアドレスが一致していますか。	DMXアドレスを合わせてください。
	本体のDMX受信灯(緑色)が点滅していますか。	点滅していれば正常です。 点灯または消灯していたら、操作卓から信号が送られていない可能性があります。操作卓からの送信を調べてください。
	電源を供給して初期動作をしますか。	電源を再投入してください。
	DMX終端スイッチの設定を調べてください。	DMX信号ラインの途中の器具はOFFに、終端の器具はON側に設定してください。
ライトが 立ち消えした	通気口が目詰まりしていませんか。	掃除してください。
	排気口がふさがれていませんか。	排気口がふさがれないようにしてください。
	周囲温度が35℃を超えていませんか。	使用温度範囲内にし、電源を再投入してください。

10. 点検と修理

10.1 日常点検、整備のお勧め

器具本体の耐用年数は、設置環境、取扱状態、保守管理状態によって異なります。

下記の点検項目に沿った内容で保守点検と正しい維持管理を行ってください。

なお、補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

- (1) お買い求めいただいた照明器具の性能を末長く維持し、安全を確保するために、下記の日常点検チェックリストに基づき点検および処置をしてください。
- (2) 日常点検チェックリストおよび処置

分類	点検項目	日常点検			弊社依頼 修理
		増締め	清掃	交換	
灯 体	灯体、腕の異常変形、損傷はないか。				○
	ハンガーの異常変形、損傷はないか。				○
	パン部の動作に異常はないか。				○
	パン部の動作音に異常はないか。				○
	チルト部動作に異常はないか。				○
	チルト部の動作音に異常はないか。				○
	フォーカス部の動作に異常はないか。				○
	フォーカス部の動作音に異常はないか。				○
	ズーム部の動作に異常はないか。				○
	ズーム部の動作音に異常はないか。				○
	ディマーシャッタ部の動作に異常はないか。				○
	ディマーシャッタ部の動作音に異常はないか。				○
	ネジ類に緩みはないか。	○			
	灯体内にほこりや紙ふぶきはないか。		○		
ランプ	映像が暗くなったり、色合いが悪くなっていないか。			○	
落下防止 ワイヤー	灯体取付金具部に損傷はないか。				○
	ワイヤーに損傷はないか。				○
電源ケーブル	変色、亀裂、変形はないか。				○
コネクタ	変色、損傷はないか。			○	
	着脱状態は良いか。			○	
	端子ネジに緩みはないか。	○			
内部配線	異常変色、焼損はないか。				○
絶縁抵抗	漏電していないか。(絶縁抵抗 5MΩ以上)				○

10.2 定期点検のお勧め

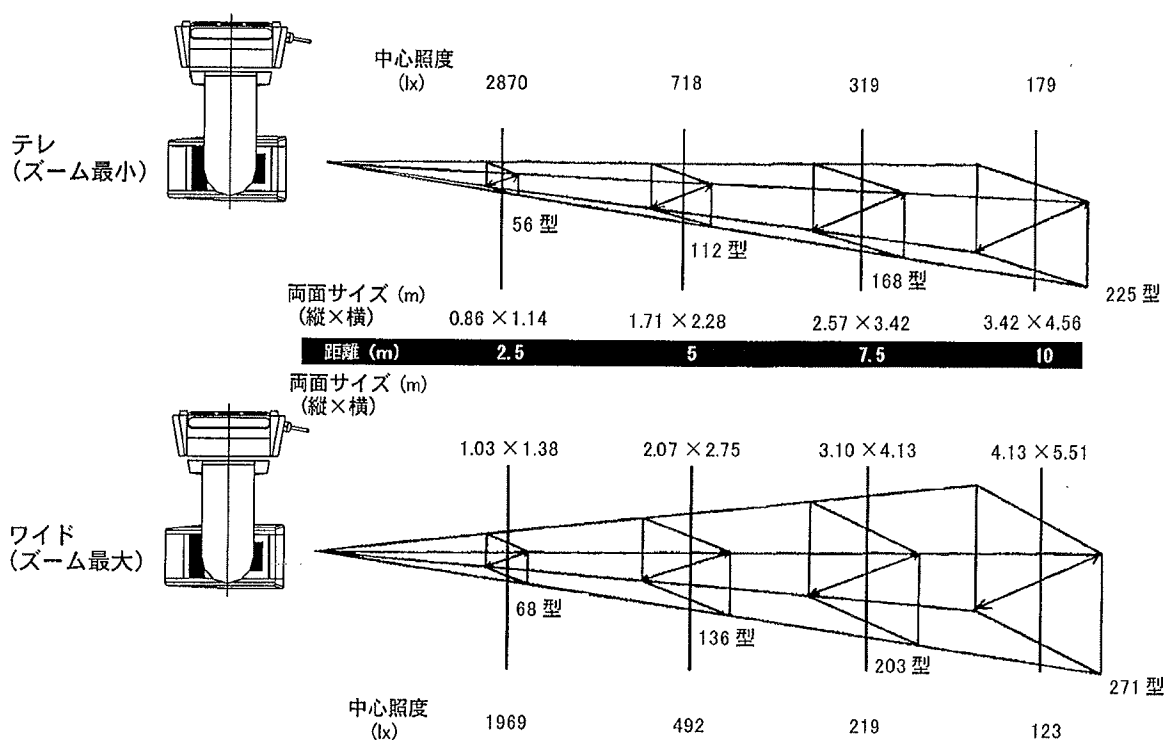
- (1) 使用期間における経年変化または、ご使用の状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお勧めいたします。
- (2) 定期点検は弊社との保守点検契約をお勧めいたします。
点検内容、点検周期は保守点検契約に基づいて実施いたします。

10.3 修理

- (1) 修理の判断
前記日常点検チェックリストに基づいて点検した結果修理の必要がある場合、およびその他の異常がある場合は修理依頼をしてください。
- (2) 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- (3) 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- (4) 修理は弊社にお問い合わせください。

11. 光学特性

11.1 照度データ（高輝度モード時）



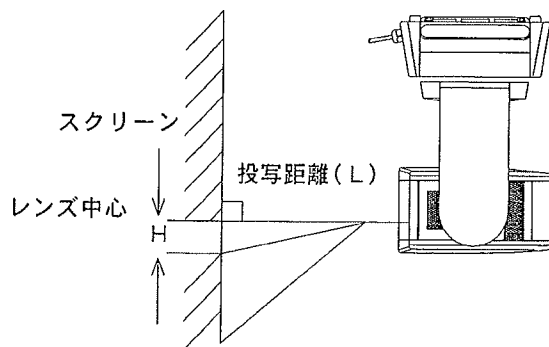
※：中心照度 (lx) は、ランプ使用開始時の明るさです。ランプは、使用時間に応じて、中心照度が低下します。

11.2 投写サイズと投写距離

1. 光源部をスクリーンに直角に照射したとき、レンズ中心の下側に画像が投写されます。
下表を参考に設置してください。
2. 光源部を反転させた場合は、レンズ中心の上側に画像が投写されますのでご注意ください。
3. 投写画像は1.45m～13.43mの範囲でピントが合うようになってます。この範囲内で使用してください。

注) オートフォーカスの動作範囲は1.5m～5.5mです。

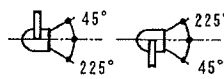
4. 設計値のため誤差があります。

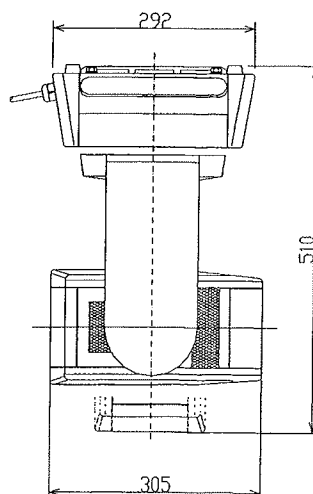
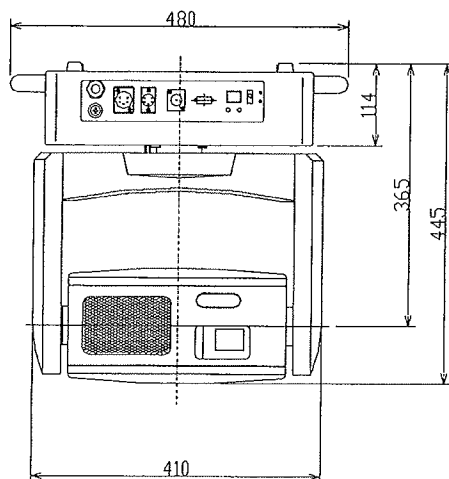


スクリーン サイズ(型)	投写距離L(m)		寸法H (cm)
	ワイド時	テレ時	
33	—	1.44	7.0
40	1.45	1.76	8.5
60	2.20	2.66	12.7
80	2.94	3.56	16.9
100	3.69	4.46	21.2
120	4.43	5.36	25.4
150	5.55	6.71	31.8
180	6.67	8.06	38.1
200	7.42	8.96	42.4
240	8.91	10.75	50.8
300	11.14	13.45	63.6

※レンズ中心位置がスクリーンの下端になります。

12. 仕様一覧

形 名		AL-MVS-M340	
定格電圧 (V)		AC100V 50/60Hz	
定格消費電力 (W)		355	光源部 220 モータ制御部 135
使用角度範囲			
使用周囲温・湿度		5~35℃ 30~70%RH (結露なし)	
最高表面温度 (℃)		90 (排気口部)	
最小照射距離 (m)		0.1	
最小離隔距離 (m)		0.1	
本体質量 (kg)		本体 16.0 専用ハンガー1kg X 2ヶ	
制御信号		DMX512 入力 X 1, 出力 X 1	
映像入力信号		Video: 入力 X 1 (BNC型レセプタクル) アナログRGB: 入力 X 1 (Dsub-15)	
電源ケーブル		VCTF 1.25mm ² X 3芯 X 1m	
電源プラグ		平行12A接地付	
材質		アルミニウム合金 薄鋼板 PC/ABS系樹脂	
取付機材		専用ハンガー 2ヶ (別売品)	
外装		白	
動作範囲	パン	±270°	49°/sec最高速
	チルト	±135°	49°/sec最高速
	フォーカス	オートフォーカス (動作範囲: 1.5~5.5m)	1sec最高速
	ズーム	ワイド ⇄ テレ (1~1.2倍、f = 20.4~24.5mm)	1sec最高速
	シャッタ	開 ⇄ 閉	1sec以下最高速
動作精度		0.3° (パン、チルト)	
明るさ		3000ANSIルーメン	
解像度		XGA (圧縮表示により UXGAまで対応)	
画面サイズ		ワイド 時: 40~300型 (投写距離1.45~11.14) テレ 時: 33~300型 (投写距離1.45~13.43)	
交換ランプ		NP09LP[NEC] (別売品)	
付属品		ムービングスター取扱説明書、プロジェクタ用取扱説明書、 リモコン、RGB信号ケーブル、単4乾電池 2本	
別売品		ムービングスター用専用ハンガー	



回転最大径 ϕ 500
単位: mm

輸出に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、日本国および外国の法に基づいて許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、弊社にお問い合わせください。

保証について

- ・保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。
取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償修理させていただきます。
- ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げ販売店（工事店）までお申し出ください。
- ・保証期間を過ぎている時は、お買上げ販売店（工事店）にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買上げ販売店（工事店）にお問い合わせください。その際は器具の形名、お買上げ時期をお忘れなくお知らせください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

受付時間：365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)
FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 システム事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1
TEL(046)862-2130 FAX(046)861-8772

お読みになったあとも必ず保存してください。

233252A